

2014.9.25
福岡市国家戦略特別区域会議 第2回

福岡地域戦略推進協議会の取組み

福岡地域戦略推進協議会
(Fukuoka D.C.)

会長 麻生 泰

Fukuoka D.C.とは

■ 福岡都市圏の成長戦略の策定から推進まで一貫して行う産学官民が連携したシンク&ドゥタンク

- 設立： 2011年4月
- 設立趣意
- ①地域経済のグローバル化（国際競争力強化）
 - ②産学官民が一体
 - ③迅速な戦略の実行（事業組成など）
 - ④九州、日本、人類の発展に貢献



ミッション **将来像「東アジアのビジネスハブ」の実現**

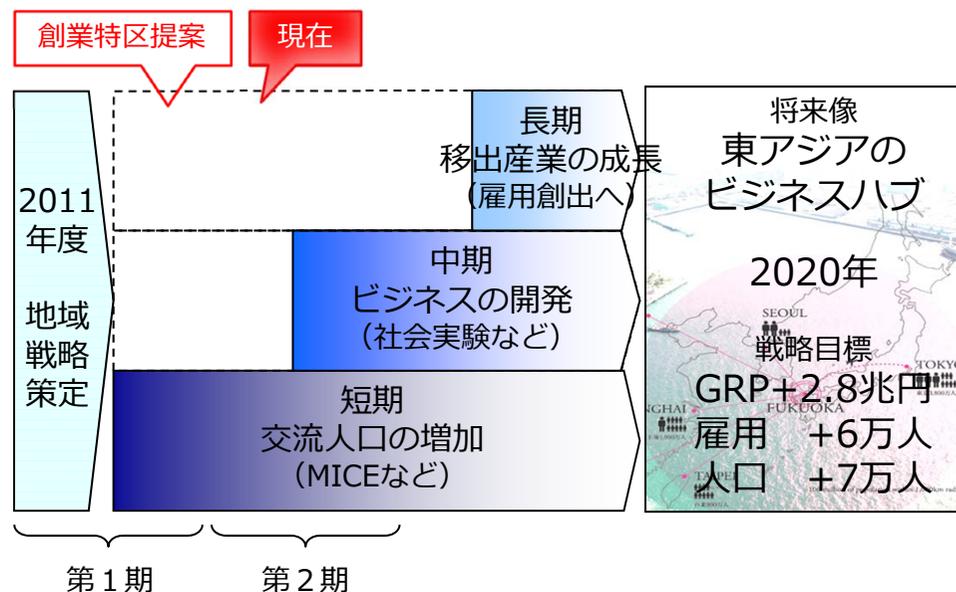
戦略目標 **GRP +2.8兆円、雇用+6万人、人口+7万人 + 国際会議件数+23件（世界50位）**（2010年～2020年）

会員 **正会員 65 特別会員 6 賛助会員 20（合計91）**

■ シンク&ドゥタンクとしての4つの特徴

1. 会員は戦略を実行する**当事者**（事業組成）
2. **域外**の知恵や資本を積極的に誘致・投入
3. **民間活力**の投入と**公共政策**の担保が連動
4. **市民力**を成長の源泉に位置づけ

■ 創業特区に福岡市と共同提案（2013年9月11日）



Fukuoka D.C.の取組み

■ 地域戦略の推進のため、MICEを軸として、テーマごとのプロジェクトを5つの部会にて推進している

食部会

Food Expo in Kyushu

地場食品関連産業の売上向上、
販路拡大及び地域経済の振興

人材部会

イノベーションスタジオ福岡

市民発のイノベーション創出
(★次ページ)

市民の他言語能力継続向上

女性・留学生の他言語対応力
強化

観光部会

Meeting Place Fukuoka (特定事業者)

MICEの誘致受入、企画に特化した
専門性の高いワンストップ組織

誘致・ビジネスコーディネート

戦略的誘致対象催事の誘致体制、
ビジネスコーディネート機能構築

広域連携

都市圏一体のMICE受入体制構築、
アフターコンベンションモデルの作成

スマートシティ部会

スマートモビリティ

移動情報分析センターの構築

スマートエネルギー

再生可能エネルギーを利用した
まちづくり

都市再生部会

都心再生戦略

都心の将来像と工程表、政策反映

ウォーターフロント地区再整備

都心ウォーターフロント再整備
(★次ページ)

水辺活性化

拠点を繋ぐ水辺空間の活性化

シティーセールス

国際競争力強化に向けた営業活動

福岡市総合交通戦略協議会

公共交通幹線軸、
モビリティマネジメント



創業特区での活動

■ 創業特区を活用したプロジェクトを推進中

イノベーションスタジオ福岡 (ソフト事業)

イノベーションの誘発やビジネスアイデアの創出により、新たな製品やサービスを生み出す事業を運営

運営：福岡県、福岡市、九州大学、産学連携機構九州
参画：NTTコミュニケーションズ、花王、コクヨ・ファニチャー、正興電機製作所、西日本鉄道、味の素

- 地域の抱える課題をイノベーションの機会に転換
- 公募で集まった市民40名との協働
- スタートアップカフェが活動拠点 (予定)

都心再生戦略の推進 (ハード事業)

イノベーション経済のエンジンとなる都心を段階的につくる街づくりに着手

部会長：福岡経済同友会副代表幹事 橋田紘一
副部会長：九電工、西日本鉄道、JR九州

- イノベーション・アンカーの検討 (天神、博多、WF)
- 福岡市のウォーターフロント再整備の取組み：
成果：市所管部署の設置、臨港地区分区条例改正、再整備の方向性決定、MICE関連施設整備方針 (検討中)



事業組成の仕組み

福岡地域戦略推進協議会 第2期事業方針

- ①事業化、②広域展開、③法人化検討